

学校ファミリーを基盤とした

北区の小中一貫教育と 特色ある取組



東京都北区教育委員会

学校ファミリーを基盤と

した北区の小中一貫教育

北区では、小・中学校の教員が、義務教育9年間を通して一貫した計画的・系統的・継続的な学習指導及び生活指導を行い、児童・生徒の「知」・「徳」・「体」と調和のとれた「生きる力」の育成を目指して小中一貫教育を実施しています。

北区の小中一貫教育とは

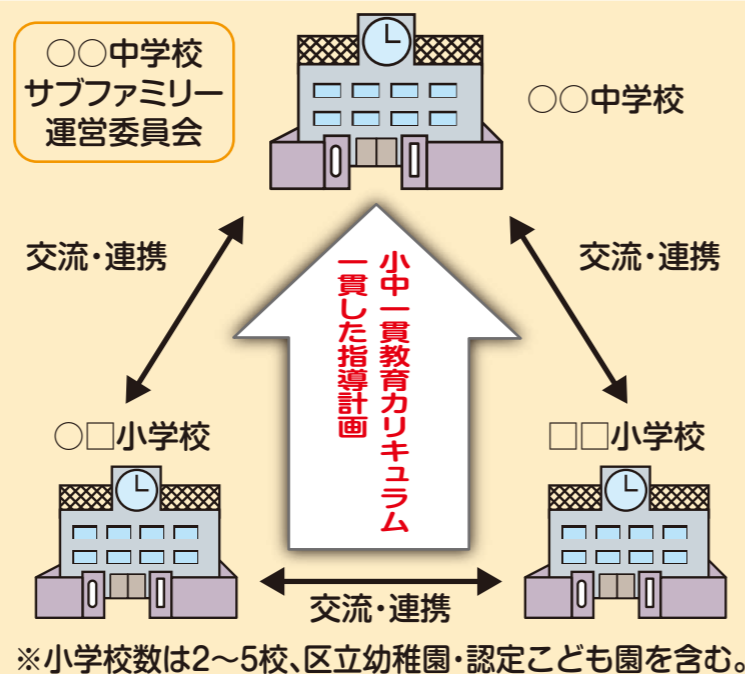
北区の小・中学校では、これまで築いてきた学校ファミリーのネットワークを生かした小中一貫教育を、平成24年度から全12サブファミリー(SF)で実施しています。各SFではSF運営委員会を設置し、児童・生徒の学習状況等の情報交換を十分に行い、小学校入学から中学校卒業までの一貫した指導計画を意識し、授業改善に取り組んでいます。教員は授業において、北区小中一貫教育カリキュラムを活用し、9年間を見通した小中の連続性のある指導をしています。

小・中学校の独自性は保ちつつ、義務教育9年間を円滑に接続させることで、確かな学力の定着を図っています。また、中1ギャップから生じる学習意欲の低下や不登校問題等、児童・生徒の指導上の課題解決にも取り組んでいます。

《背景》
平成18年に教育基本法が60年ぶりに改正され、学校教育法では、新たに義務教育の教育目標を定めた上で各学校種の目的・目標が見直されました。学習指導要領もこれに合わせて改訂され義務教育段階で一貫した教育が求められるようになりました。

学校ファミリーとは

区立の幼稚園・小学校・中学校で組織する、質の高い教育を実現しようというネットワークです。学校ファミリーの活動は、中学校1校とその通学区域内の複数の小学校、幼稚園からなるサブファミリーを活動単位としています。さらに、サブファミリーを核として、学校・家庭・地域社会の連携協力体制を整備し、地域教育力の向上を目指します。



北区小中一貫教育カリキュラム

カリキュラムを活用することにより、9年間を見通した小中の連続性のある学びを実践していきます。

《特色》

- ① 小・中学校の教員が、共同で作成
- ② 小・中学校教育及び就学前教育との円滑な接続に留意
- ③ 学習内容の重点化・精選化
- ④ 上学年・下学年の関連性のある学習事項の明確化
- ⑤ 言語活動の充実を通して思考力・判断力・表現力を育む指導例を掲載



9年間の計画的・系統的・継続的な教育の推進

	前期 (小学1~4年)	中期 (小学5~6年)	後期 (中学1~3年)
知	知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力の素地を養う。	知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を育成する。	知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力をさらに高め、個性や能力を伸長させる。
徳	基本的な生活習慣の定着や、集団生活のルールを身に付ける。	将来への夢や希望をもち、目標に向けて努力する態度を培う。	自己有用感をもち、自らの生活を見つめ将来を展望する。
体	活動を工夫して、各種の運動を楽しくできるようにする。その基本的な動きや技能を身に付け、体力を養う。身近な生活において健康で安全な生活を営む資質や能力を育てる。	活動を工夫して、各種の運動を楽しくできるようにする。その特性に応じた基本的な技能を身に付け、体力を高める。心の健康、怪我の防止及び病気の予防につき理解できるようにし、健康で安全な生活を営む資質や能力を育てる。	運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさを味わう。知識や技能を高め、生涯にわたって運動を豊かに実践できるようにする。健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を育てる。

学校ファミリーに

王子桜中サブファミリー 【新聞教育】

NIE (Newspaper In Education の略、新聞を教材・学習材として活用する学習) の手法を取り入れ、言語活動の充実を図るとともに、情報活用能力や思考力・判断力・表現力等を育成します。社会の出来事に興味をもち、生涯にわたって学び続ける基礎を育みます。



新聞を活用した授業

十条富士見中サブファミリー 【言語活動を中心とした学力向上】

言語環境を整えるとともに、言語に対する関心や理解を深め、思考力のベースとなる言語力を育成します。各教科においては、対話・記録・要約・説明・発表・討論などの言語活動を充実させ、論理的思考力や表現力を育成します。



言語活動を中心にした授業

明桜中サブファミリー 【キャリア教育を中心とした学力向上】

一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度（自立した社会人として生きるために必要な力）を育みます。「基礎的・汎用的能力」の育成を通して、自立・協働・創造に向けた一人ひとりの主体的な学びにつなげていきます。



コミュニケーションによる課題解決型授業

堀船中サブファミリー 【情報活用能力の育成を柱とする学力向上】

新聞の読み比べや付箋を利用した情報のまとめ、調べ学習・発表等の情報活用を取り入れた授業、また、電子黒板や携帯情報端末、デジタル教科書等のICTを取り入れた授業の取り組みを通して、思考力・判断力・表現力と他者とかかわる力を育成する新しい学びを創造します。



プロジェクターを用いた授業

稲付中サブファミリー 【オリンピック・パラリンピック教育】

オリンピック・パラリンピアンとの交流を通して、運動・スポーツにより一層親しむ取組、体力や健康の保持増進を図る取組、オリンピック・パラリンピックの歴史や意義、理念などを学習する取組、国際理解を深める取組などをオリンピック・パラリンピック教育として推進していきます。



オリンピックと一緒に JOC オリンピック教室

赤羽岩淵中サブファミリー 【防災教育】

防災教育小中一貫年間指導計画を策定し、それに基づく防災授業や体験等を実施します。また、小中合同引き取り訓練や地域総合防災訓練など、保護者・地域と連携した小中一貫型防災教育を推進します。



【防災授業】非常時の持ち物は？

による特色ある取組

桐ヶ丘中サブファミリー 【道徳教育】

「桐ヶ丘心の教育ネットワーク」として、桐ヶ丘地域の心の教育を充実させ、豊かな教育力を育みます。SFを中心として、学校の道徳教育の充実を目指すとともに、保護者や地域関係機関と連携を工夫しながら推進していきます。



障がいのある方と一緒にダンス活動

神谷中サブファミリー 【学び体験のコラボレーション】

「学びの一貫性」(学習スタンダード)をもたせるとともに、体験学習に基づく援農教育は、区内唯一の特色ある教育活動であり、小・中学生の共同作業へと展開をしています。また、一貫性のある生活指導や学校行事のコラボを行い、9年間を通じて系統的に子どもを育てていきます。



小中合同農業体験「米の収穫祭」

浮間中サブファミリー 【情操教育】

「花・音・風-情操教育の推進-」として、浮間地域の豊かな自然環境を生かし、地域の方々と伝統あるサクラソウの栽培を通して、郷土を愛する心を育みます。また、音楽交流やボランティア活動などを推進して、社会貢献できる豊かな心をもった児童・生徒を育成します。



さくら草の写生授業

田端中サブファミリー 【地域学習】

地域の方々をゲストティーチャーとして招へいし、田端に根付いた文化等を学ぶ「田端学びの郷オープンスクール」を開催しています。田端小・滝野川第四小6年生、田端中の児童・生徒と一緒に学ぶことで、異年齢集団の交流を図り、地域とともに学ぶ態度を育みます。



オープンスクール【茶道】の様子

滝野川紅葉中サブファミリー 【国際理解教育】

イングリッシュサポーター(外国人講師)が、放課後に英会話講座等を行うイングリッシュプラザを開催し(中学校を中心として実施)英語の力を高めていきます。また、コミュニケーション能力の向上に向けた授業改善や東京国際フランス学園との交流などを通して、国際理解教育を推進します。



地元野菜を知ろう！滝野川ごぼう収穫

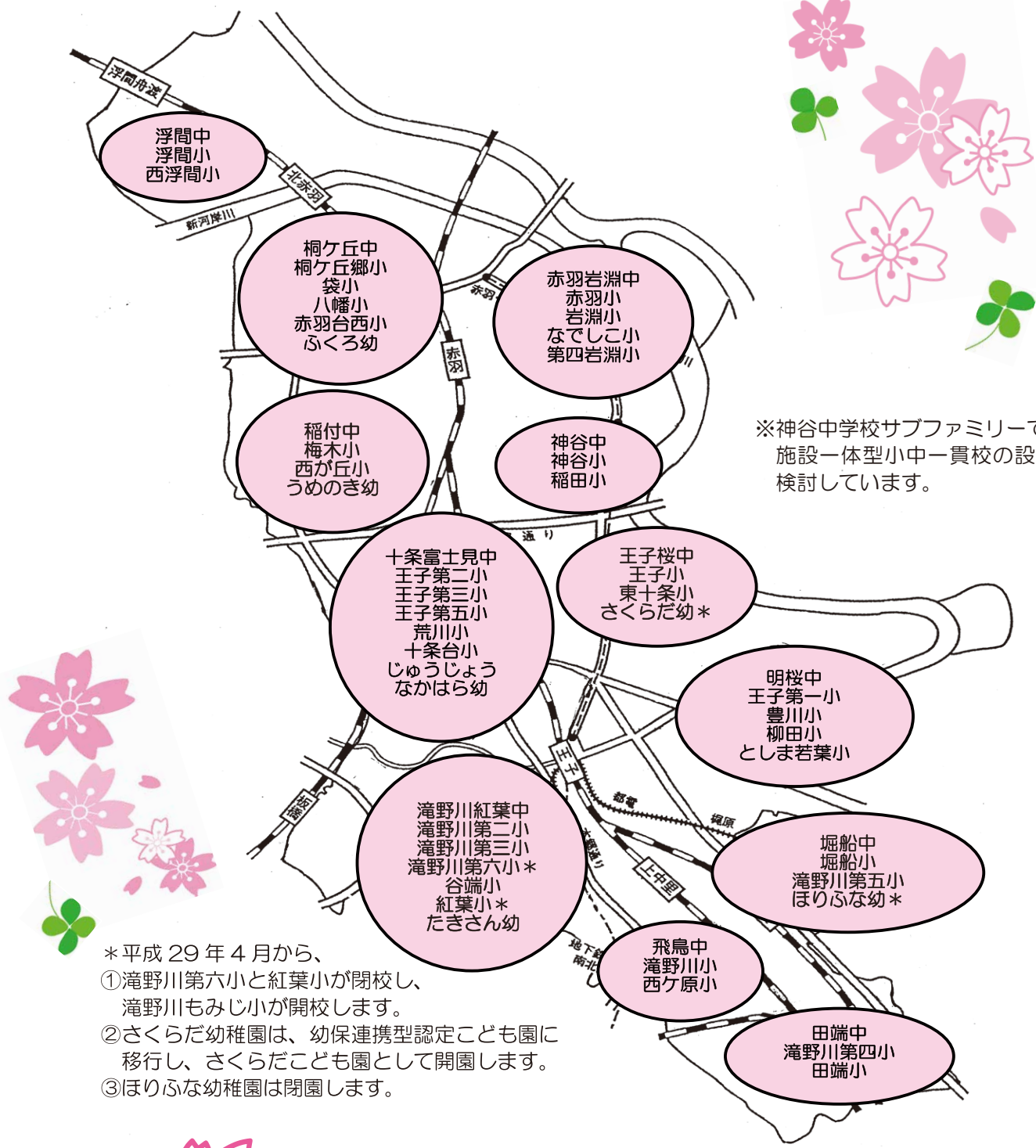
飛鳥中サブファミリー 【学校図書館活用教育】

学校図書館指導員(学校司書)を活用し、学校図書館の整備を進め、読書活動や言語活動の一層の充実を図ります。読書量と学力には正の相関があり、児童・生徒の自主的な学びを深め、問題解決能力を育みます。北区民としての教養の基礎を培うため、読み聞かせや読書習慣、自立した生き方を目指す読書の方法などを教育するものです。



学校司書を活用した授業

北区サブファミリーマップ(平成28年度)



※神谷中学校サブファミリーでは、施設一体型小中一貫校の設置を検討しています。

- *平成 29 年 4 月から、
- ①滝野川第六小と紅葉小が閉校し、滝野川もみじ小が開校します。
 - ②さくらだ幼稚園は、幼保連携型認定こども園に移行し、さくらだこども園として開園します。
 - ③ほりふな幼稚園は閉園します。

北区の小中一貫教育と特色ある取組

平成 29 年 3 月発行 | 刊行物登録番号 28-2-099

北区教育委員会事務局教育政策課
 東京都北区滝野川 2-52-10
 電話：03-3908-9279